

令和元年9月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和元年9月24日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時41分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	重松浩二郎	教育企画総務課長	小林芳由
学校施設課長	板野正博	就学課長	東谷徹
指導課課長代理	怒田眞由美	指導課教育支援担当課長	渡邊裕一
生涯学習課長	渕田裕之	生涯学習課課長代理	田中光彦
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課長補佐	黒瀬格		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	澤谷好太郎	事務局(教育企画総務課係長)	矢谷隆宏
5 議題及び結果			
報告第 31 号	専決処理の報告「市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について承認 て」		
6 教育長等の報告 [令和元年8月10日(土)～令和元年9月13日(金)]			
8/16～19	全国公立ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2019inHAMAMATU	地域子育て支援課	
8/19	人権問題研修講座④	指導課	
8/25	岡山市ジュニアオーケストラ第55回定期演奏会	地域子育て支援課	
9/9	教育長学校訪問	教育企画総務課	

<p>教育長</p>	<p>○ ただいまから8月の岡山市教育委員会定例会を開会する。 傍聴希望者はおられない。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 本日1日限りとする。 日程第2、7月と8月の定例会の会議録を順次ごらんいただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、次期の教育長職務代理者の指名について説明を申し上げる。 改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第13条第2項、教育長に事故のあるとき、または教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行うとあり、教育長代理者は教育委員の中から教育長があらかじめ指名することとなっている。現在、教育長職務代理者は藤原委員にお願いをしているところであるが、藤原委員は10月7日をもって教育委員の任期を満了、退任されるので、次期の教育長職務代理者を経験豊富な委員の中からあらかじめ指名しておきたいと思う。 それでは、次期、10月8日からの教育長職務代理者に石井委員を指名する。</p>
<p>石井委員 教育長</p>	<p>○ よろしく願います。 ○ なお、教育長職務代理者の任期は、法律での規定はなく、当該教育長が別の教育委員を指名するまでか、新たに任命された教育長が新たに職務代理者を指名するまでのいずれかになる。 また、教育長職務代理者たる委員が行う職務のうち具体的な事務の執行など、職務代理者がみずから教育委員会事務局を指揮監督して事務執行を行うことが困難である場合には、法第25条第4項に基づき、その職務を教育委員会事務局職員に委任することができる。本市においては、この場合の事務局職員を教育次長としている。 説明は以上である。よろしく願います。</p>
<p>石井委員 教育長</p>	<p>○ よろしく願います。 ○ 続いて、事業報告である。 事業報告をごらんになって、何かご質問はあるか。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 教育長が学校訪問を9月もされているので、内容をお伺いできればと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 夏休み明け初めての教育長訪問ということで福田小学校に行ってみいたが、どこの学校へ行っても学力向上と生徒指導の問題についてはすらすらと校長が話をされる。福田小は、学力パワーアップ週間ということで、校務分掌の中に自主学習（家庭学習）を一生懸命やらせようという分掌を決めて、上からというのではなくて、職員のほうから取り組んでいこうというような取り組みをされていた。校長室のすぐ横の廊下には、よいこと探しということで、担任やそれから指導に当たっている先生から、この子はよいことをしているなというのを集約して、校長がいろいろ紙に張って、よいことの本をつくって自尊感情をしっかり高めようという努力もされていた。 中学校、小学校が1校ずつの学区なので、中学校との連携というのが非常にとりやすい反面、1小1中というのがやりにくい面もあり、非常に難しいなというのを感じたところである。それは、やはり中学校の立場にしてみれば、1校しか小学校がないということは自分たちの指導する成績はその小学校に全てかかってくるということがあるので、でもそれだけではないということで大人の対応をされているけれども、1小1中というのはなかなか難しいなと、しっかり話し合いをしていないといけないなと感じた。 それから、地域のことでいうと、小学校と中学校の地域が一つ、福田中</p>

学校区が福田小学校区でもあるので、非常にそこも扱いというか連携の仕方が難しいと感じた。

非常に学校がきれいで、これは私が来たから特別にきれいにしたのかと言ったら、いや、いつもそうであるというふうに言っていた。でも、最近学校に行って思うが、げた箱に、きちんと靴がそろえられている。形からどうこう言うのもいかなものかという意見もあるが、私は形は大切なものじゃないかなと思うし、ちょっとした声かけで靴はきちんとそろえることができるので、いいなと思っている。学校をずっと回っているときに見るトイレも非常にきれいだった。

福田小については以上である。

石井委員

○ 先般の総合教育会議の中でも市長も、教育大綱が学校に自主的に掲示されている、市長が行くからということではなくて掲示されているとか、今教育長のお話の中でも、教育委員会で実行したいことを学校の校長先生や先生方が理解されて、一丸となった取組が進んでいるということ、学習調査の中でもそういう傾向が出ていることは本当にすばらしい。皆さんの努力の結果が繋がってきているのかなというふうに思うし、小学校と中学校の関係というのもあると思うが、今独自の学力アセスも始まって、経年的に数字がとれていくということも今後生かしてやっていただきたいなど改めて思った。

藤原委員

○ 今の教育長の学校訪問に関連してだが、今お聞きしていたら自主学習が盛んだと。これは岡山市内の学校で増えているのか。

教育長

○ 増えている。

藤原委員

○ 何年か前に私たちも教育委員の視察で福井へ行かせてもらったときに、福井は学力が高いと言われているが、本当の学力がついているという感じがしたのはこの自主学習だった。岡山は、今年ちょっと上向いている。じゃあ、次のステップをどう考えるかといったときには、やはり今は平均的な学力で、ここから上に行くためにはもう一つの工夫が要るのではないかと。それは自主学習で、自主学習というのはこれぐらいの学力の子はこれぐらいの自主学習ができるし、これぐらいの子はこれぐらい、それを学校が大事にするというか。もう一つは、その質を高めるやり方が学校の教員ができるかどうかにかかっているのだろうと思う。最初のうちは多分ワーク的な自主学習もあるだろうし。でも、本当の自主学習というのは、もっと調べてみようとか、もっと何か解決してみようというふうな欲が出たところの勉強が続くと本当の学力に近づくのではないかなと思うので、自主学習をやっている、それはいいが、その次の質のことについて少し教育委員会のほうで提案できるところはしてあげたらいいのではないかと思った。

それから、もう一つは、小1中1はほかにも幾らかはあると思うが、岡山市の学校の環境はすごくいろいろある。少し自由度を持って、その学校の管理職になったらその学校らしい特色を出すような、特色を出して地域の中で立ち位置を変えてやっていると思うが、小1中1にしかできないことは、多分これから義務教育学校ができたならもっともっとそのノウハウが生かされることがたくさん出てくると思うので、その制度の中での小・中連携というのは小学校が1つとか2つとかということではできやすいし、岡山市内の4つも5つも小学校があるところとはちょっと違うと思うが、その辺の特性というのかメリットというのか、デメリットもあるのだけれどもメリットに変えるような機会を校長さん、教頭さんが持つような年度初めの何か、教育長訓話とは言わないけれども、そういうふうな方向性を示すことも要るのかなと。同じような学校、義務教育だから最低保障はしないといけないし、基準は学習指導要領だけれども、やり方や特色はやはりもっと変わってもいいのではないかと思っている。

<p>教育長 藤原委員</p>	<p>○ ほかに事業報告の中でご意見はないか。</p> <p>○ もう一つ。ジュニアオケのこと。これは浜松の全国、このフェスティバルにも黒瀬さんが行かれたので、その感想を教えてもらったと思う。</p>
<p>地域子育て支援課 課長補佐</p>	<p>○ 8月16日から19日の間で岡山市のジュニアオーケストラのメンバーと一緒にフェスティバル in HAMAMATUということで行ってまいった。全国8つの公立ジュニアオーケストラ、全国には公立といってもいいようなものはほかにもあるそうであるけれども、8つの団体がこういうフェスティバル等で交流を深めていこうということで、ジュニアオーケストラ協議会というものに参加をしている8団体がともに浜松に集まって演奏会を行ったということである。8つのうち仙台については、予算的なことで参加ができなくなったと聞いている。あと、長崎の佐世保については地元の単独での演奏ができるだけの団員が来られなかったということで、各参加団体からの選抜オーケストラのみで参加であった。</p> <p>そのフェスティバルの間だけではなく、それぞれのオーケストラの中心となって活動をしているリーダーが事前に浜松等を集まって、どういうふうな演奏会にしていくのかというようなことを話し合っ、子どもたち主体で進んでいくというようなところが非常に特徴であったと思う。どの団も非常に練習を重ねた質の高い演奏を行って、最後にフェスティバルオケということで各団からの選抜での演奏ではマイスタージンガー、フィンランドディアと今この団でも取り組んでいる楽曲を持ち寄ったわけであるけれども、演奏して、大変すばらしいものであったというふうに思う。このような全国のジュニアオーケストラのつながりというものが増え盛んになればいいなというふうに感じた。</p>
<p>藤原委員 地域子育て支援課 課長補佐</p>	<p>○ これは3年に1回か。</p> <p>○ 3年に1回である。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 8団体ある都道府県というか市をずっと行ったら、岡山へもいずれは来るのか。</p>
<p>地域子育て支援課 課長補佐</p>	<p>○ これは順番、輪番で回しているようなものではなくて、今までずっと新潟でやっていたのを他でもやったほうがよかろうということで、今年初めて浜松になった。協議会の話の中で、決まったものではなく雑談であるけれども、岡山でも芸術創造劇場ができるとかというようなことで、岡山でもぜひできないだろうかという声が上がっているのは事実である。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ このジュニアオーケストラを維持していくというのは随分お金もかかるし、いろんなことがあると思うが、でも今のような成果はものすごく大きいものがあるし、団長が市長、副団長が教育長ということもあるので、子育て支援課のご尽力で続けていくものだと思うのだが、ぜひぜひみんなが理解していくようなことが必要かなと思うので、またよろしくお願ひしたいと思う。</p> <p>全市内の小・中学校、いろんなところから数人ずつ集まってきているので、その子たちが自分の学校に帰ったときにも影響力というものはとてもあると思う。中には、本当に自分の学校ではなかなか登校を渋っているような人がこういう異年齢の音楽の中でうまく育っていくような例もあると聞くので、ぜひいろんなところで応援していきたいなと思って聞いた。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ ほかにいいか。よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ これで、事業報告を終わる。</p>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長</p>	<p>○ 議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。</p>

<p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課長</p>	<p>日程第4の報告第32号は、教育事務に関する議会の議案などについての市長への意見の申し出に関する事項として会議規則第7条第1項第3号に該当するため、また第21号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項として会議規則第7条第1項第2号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様、いかがか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、2つのものについては非公開と決定する。</p> <p>日程第4、報告第31号、これを教育企画総務課から報告をお願いする。</p> <p>○ 報告第31号専決処理の報告についてご説明をする。</p> <p>これは、令和元年度岡山市一般会計補正予算（第2号）案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、8月19日に専決処理したものである。</p> <p>予算案の内容についてご説明する。</p> <p>今回の補正予算案は、小学校のトイレの洋式化や防災機能強化のための受水槽の更新等を行うほか、ストレッチャー対応のエレベーターの整備、山南義務教育学校（仮称）の整備を行うものである。</p> <p>まず、小学校のトイレの洋式化及び防災機能強化のための受水槽の更新等については、工事請負費4億3,700万円を計上している。</p> <p>次に、ストレッチャー対応のエレベーターの整備については、豊小学校及び竜操中学校にストレッチャー対応のエレベーターを整備するため、測量設計等委託料として小学校費、中学校費にそれぞれ450万円及び470万円を計上するものである。</p> <p>次に、山南義務教育学校（仮称）の整備については、山南中学校区の4小学校及び1中学校を統合し義務教育学校を整備するための測量設計等委託料として6,960万円を計上するものである。</p> <p>今回の補正額は総額で5億1,580万円の増となり、補正後の教育委員会の教育費予算額は461億7,023万9,000円となる。</p> <p>次に、第3項の繰越明許費補正についてである。</p> <p>学校施設改修事業4億3,700万円及び校舎等建設事業6,500万円は、それぞれ今回補正計上した小学校トイレ洋式化及び受水槽更新費用の全額について、また山南義務教育学校（仮称）整備のための委託料のうち、地質調査委託料を除く費用について繰越明許費を設定しようとするものである。</p> <p>公民館建設事業費2,700万円は、上道公民館の建築に係る設計委託料について繰越明許費を設定しようとするものである。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>引き続き、3ページ以降の補足資料に沿って、学校施設課からご説明する。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 事業名、学校施設改修整備事業。</p> <p>事業趣旨としては、トイレの洋式化、乾式化を行い、学校環境の改善を図ること、及び受水槽については、劣化している受水槽を改修し、災害時に避難所となる受水槽を改修して防災機能の強化を図るものである。</p> <p>事業内容としては、南輝小学校と中山小学校がトイレと受水槽などの改修更新、旭操小学校と庄内小学校が受水槽などの改修工事となっておって、ことしの4月16日に国庫補助内示を受けて事業を実施するものである。</p> <p>事業費については、補足資料に記載のとおりとなっている。</p> <p>なお、年度内完工が困難であることから、全額繰越明許を行おうとするものである。</p> <p>続いて、小・中学校エレベーター整備事業。</p> <p>岡山市ユニバーサルデザイン・共生社会推進基本方針に基づき、ストレッチャー対応拠点校として豊小学校及び竜操中学校にエレベーターを設置するものである。</p>

	<p>事業内容としては、13人乗りでトランク付きのエレベーターを予定している。</p> <p>スケジュールとしては、本年度までに設計を完了し、来年度工事を行う予定にしている。</p> <p>また、事業費については、補足資料に記載のとおりとなっている。</p> <p>続いて、山南義務教育学校（仮称）整備事業。</p> <p>児童・生徒数が減少している当地区において学校規模の適正化を図り、特色ある教育の実施と教育環境の向上を図るため、1中学校と4小学校を統廃合し、中学校内の敷地内に新しく義務教育学校の整備を図ろうとするものである。</p> <p>令和4年4月開校に向けて、設計及び地質調査の委託料を要求するものであって、設計内容としては、新たな校舎の増築と既存校舎の大規模改造を予定している。</p> <p>スケジュールとしては、今年度地質調査を行い、実施設計は今年度から来年度にかけて行う予定である。実質工期は7カ月程度を見込んでいるため、年度内の完了は困難なことから、設計委託料については繰越明許を行う予定である。</p> <p>また、事業費については、補足資料の記載のとおりとなっている。</p>
<p>教育長 藤原委員</p>	<p>○ 何かご質問やご意見はないか。</p> <p>○ エレベーターは拠点的に配置するということだが、今何カ所目になるのか。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 今、現在あるのは竜之口小学校に1個ある。その卒業した子どもが竜操中学校に上がる。また、豊小学校に今在籍の4年生がいるため今回整備することとし、合わせて3校ということになる。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 豊小学校から中学校へ上がるときにはその中学校を拠点ということにするのか。</p>
<p>教育支援担当課長 藤原委員</p>	<p>○ 西大寺中学校を拠点とすると考えている。</p> <p>○ その後も物凄く必要ができれば拠点は増やすということか。でも、こういうところがあるからこっちに行ってくださいというような指導というかアドバイスはするのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ その子が入ろうと思う学校全てにこういうエレベーターをつけるというのではなくて、限定的に、どこにというのは決まってないが、設置してそこに行ってほしいということは言っていないかと思ふ。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ その子の入学までに準備というのはやっぱり難しかったんだろうね、今、補正で上げるということは。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 今4年生ということで、2年越しの就学相談というのを進めているから、今年度終わりから来年度にかけて、もしかすると支援学校に行ったほうがその子について良いように学びができるという可能性があるのですが、そのあたりも含めながら考えていくということにはなるが、2年ぐらいを目途に就学について保護者と相談していこうと考えている。</p>
<p>藤原委員 学校施設課長</p>	<p>○ 国庫補助はつくのか。</p> <p>○ 財源としては、地方債を考えている。工事については国庫補助のほうを充てる予定に一応している。</p>
<p>藤原委員 石井委員</p>	<p>○ 国のほうの理解はあるということか。</p> <p>○ トイレの洋式化については、文教委員会の資料によると、南輝と中山は洋式化が11%とか10%で、それ以外は最低20%とかになって、洋式化が進んでいるところは88%となっているが、今後の洋式化にしていく考え方はどういう考え方で、全てについて88%を目標にやっていくとか、そういうパーセントの目標があのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 今年度で各棟の各階のトイレの洋式化が一応終わる予定になっておいて、次年度以降の計画については、今回上げている補正の予算を今後踏襲して、</p>

	<p>来年度以降は洋式化率の低い学校から順次整備を進めていきたいと考えている。</p> <p>また、トイレ整備計画についての検討を今後行っていきたいと思っている。より効率的なトイレ整備計画が、飛躍的に洋式化率が何とか上がるというわけではないかもしれないが、年次計画を立てて着実に伸ばしていきたいと考えている。</p>
藤原委員	○ この洋式化で避難所との関係で、例えば1階部分だけを先にするとか体育館周辺だけ先にするとか、そういう動きはあるのか。
学校施設課長	○ 避難所としてのトイレの整備については現在別個で進めていて、一応数年うちには避難所として開放したときに整備ができていく予定になっている。1階トイレについては、今後整備課題の中でも一応検討していく事項になると考えている。
藤原委員	○ 整備の財源は、幾ら避難所といえども学校予算、教育委員会予算ということか。
学校施設課長	○ はい。一応国庫補助の申請をしていきながら、補助とそれから起債と両方使って行って整備のほうを進めていきたいと考えている。
藤原委員	○ 教育委員会ですら予算取りをするということか。
学校施設課長	○ そうである。
藤原委員	○ 避難所ではありながら、学校でもあるので。 数年前、ものすごく夢があるトイレがモデル的にあったと思うが。そういうモデルケースというのは増えてはいかないのか。必要最小限にトイレは洋式化するというのか。
学校施設課長	○ 現在、トイレの整備自体は洋式化と、それから床が今湿式から乾式に変わっているのだから、かなりきれいなトイレになることは事実だろうと思う。その中でまたどういふふうにも子どもたちが掃除とかそれからトイレの使い方であるとか、そういったことも一緒に含めて学習できれば、よりよいトイレの改修ができるのかなとは思っている。
藤原委員	○ つくる段階から何か子どものいろんなアイデアが入るとかということころはもう隙間はないということか。
学校施設課長	○ そうあればいいかなとは思っているが、現在の段階ではまだそういったところまで手が及んではない状況である。
藤原委員	○ たくさん水洗の和式から洋式化するほうが急がれるのかもしれない。
教育長	○ よろしいか。
石井委員	○ 仮称であるけど、山南義務教育学校の整備に向けた準備が開始されていると思うが、先般義務教育学校を検討しているということを発表した中で、いろんな意見が寄せられ、前向きなもの、後ろ向きなもの、それぞれあるのかなとも思うが、何かそういう声が上がってきいたら教えていただきたい。
就学課長	○ 例えばこの前の子ども・文教委員会で委員さんのほうからメリット、デメリットがどうなんだというようなお話もあって、確かに9年間を一括で見る学校であるので、小学校6年生の子どものリーダーシップがなかなか育たないのではないかとかそういうデメリットがあるのでは、小学校の低学年の子どもと中学生と一緒にいて安全なのかとか、そういうご質問とかご懸念とかをいただいているところである。 実際に先進の義務教育学校に行くと、逆に中学生が穏やかになって落ちついてきているというようなお話も聞いて、これもその義務教育学校だからというわけではなくて、当然現場の学校の先生も相当な工夫をされているところもある。 またこの前の委員会でも申し上げたかもしれないが、どうしても規模が大きくなりがちに、9年掛けるクラス数になるので、もう3クラスになると大規模校になってしまう、そういういろんなデメリットをいかに減らしながらメリットを活かしていくかというのがこれから2年半かけて具体的なやり

	<p>方、カリキュラム、学校の運営等、これから施設の詳細が決まっていく中で、そういうことをどういうふうに考えるか、一番は先ほどのいかにメリットを強化してデメリットを小さくしていくかというのがこれからの大きな課題であると思う。</p>
石井委員	<p>○ さまざまな方がさまざまな角度から課題やご意見があると思うが、教育委員会で以前つくっている目指す姿というものをよく皆さんに知っていただいて、理解をいただきながら進めていただきたいと思うので、よろしく願いする。</p>
教育長	<p>○ 就学課長が言った以外にも、要望書が上がってきてから作ろうという、決定がちょっと早過ぎるのではないかという意見があったが、今ものすごく小さくなっている学校もある。早目に一緒にしないといけないというのが大前提としてあるので、早過ぎることはないんだということを訴えてきたが、手続論でいろいろ反対される方もおられた。しかし、おおむね頑張りなさいという励ましが多かった。</p>
藤原委員	<p>○ 早過ぎることはない。子どもたちはどんどん大きくなって卒業していくわけだから、その義務教育学校の恩恵を被らない子がやはり多いわけである。地質調査が今年度かかると補正予算にあったと思うが、もともと校舎が建っていた部分に建てるのでも地質調査というのは大分かかるのか。</p>
学校施設課長	<p>○ 現在、建てるところについてはグラウンドと今ある校舎の間のところの土地になるので、新たに建てるところについて地質調査を行うという形になるので、全体として今既設である校舎は地質調査をしているが、さらにより詳しく地質調査をするという意味合いで、今建っていないところももう少し地質調査をかけるという形になるものである。</p>
藤原委員 学校施設課長 藤原委員	<p>○ 文化財の可能性はないか。 ○ 文化財の可能性はない。 ○ もっと早く、今のが遅いということはないが、もう1年前倒しぐらいでできたらいいのにとっても難しいことなんだろうけど。</p>
石井委員	<p>○ 今回新しく校舎の増築と大規模改修ということになっているが、既存の建屋だけではなく、新しい建屋が今回どうしても要るんだというところを改めてご説明してもらいたい。</p>
学校施設課長	<p>○ 既設の校舎については、現在中学校が使っている。それから、新しく建てる校舎については、主に今の小学校の子どもたちが使う校舎になる。9年間の学習という形になるので、それを初等部、中等部、高等部という形で分ける。初等部が1年生から4年生まで、それから中等部が5年生、6年生、それから高等部が7年生から9年生にまでになる。既存の校舎については7年生から9年生ということで、現在の中学生の生徒が学ぶという形になる。新しく建てる校舎については初等部、中等部という形になるので、1年生から4年生、それから5年生、6年生という形の子どもたちが中に入って、学び舎の中に入って学ぶというような形になる。</p>
石井委員	<p>○ 中学校の人数が減っているから、もともとの部屋数に対して今人数が少ない状態になっているが、それがあつたとしても部屋数は足りませんという状況ということで理解してよろしいか。</p>
学校施設課長 藤原委員	<p>○ はい。 ○ 予算だからハード面が多いが、教育の中身に関してはいつごろから検討に入るのか。</p>
就学課長	<p>もう一つ、それは内部の教育委員会事務局の中で検討するのか、それとも外の何か学識経験者とか、委員会もそういう経験がある人を交えての検討になるのか。 ○ 今考えているのが、山南の4つの小学校と1つの中学校の先生が今実際に子どもたちを教えて、その継続性ということもあるので、当然こちらの岡山市の教育委員会、主に指導課になるが、かかわって行って、これからどうい</p>

<p>藤原委員</p> <p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>う教育を、大筋のものはこの前お示しさせていただいたが、実際の肉づけの部分はこれから現場の学校の先生と既に少しずつ進めているところであるが、こういうやり方でやったほうがいいのではないかと、私たちはこういう教育を今までしてきた、それぞれの学校がやってきているのもあるし、その下積みからどうやっていくのか、それから新しいものをどう入れていくのかということは今これから考えながら、令和3年には教育課程をつくっていかないといけないので、準備を進めているところである。</p> <p>特に今のところ外部の方の意見ということでは、設けようというのは今は考えてないところである。</p> <p>○ 今おられる山南学区の先生方が一番実情はよく知っていると思うし、こうあってほしいという願いも一番肌で感じていると思う。</p> <p>でも、それに加えて、先進的な学校をつくっていきたいと思うので、そういう意味ではいろんな情報が入ったり、いろんな将来を見通した動きができるような委員というか構成メンバーというか、そういう人も入れてもいいのではないかと思う。そこの方だけで満足、そうじゃないとは思いますが、そうではなく岡山市として試金石になるような学校にする方がよいと思う。</p> <p>○ この報告第31号、そのほかにないか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、次に移る。</p> <p>一部は承認して、次のほうに移るが、非公開の審議に移るので、関係者以外は退席をお願いします。</p>
--	---

傍聴の状況		
報 一	道 般	0名 0名

令和元年9月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和元年9月24日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時41分	
	閉会	14時53分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長（教育総務部長兼務）	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	重松浩二郎	学校施設課長	板野正博
指導課教育支援担当課長	渡邊裕一	生涯学習課長	瀧田裕之
生涯学習課課長代理	田中光彦	事務局（教育企画総務課課長補佐）	澤谷好太郎
事務局（教育企画総務課係長）	矢谷隆宏		
5 議題及び結果			
報告第32号 第21号議案	専決処分の報告（債務不履行に係る損害賠償の額を定めることについて） 社会教育委員の委嘱について		承認 原案可決